

令和3年度 岡山県立備前緑陽高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和4年3月17日（木）9:30～11:30 場所：岡山県立備前緑陽高等学校 工業基礎実習室

出席者：13名

1 開会・校長挨拶

2 びぜんみらい学（総合的な探究の時間） 中間報告会のオンライン参観

3 報告

- ・びぜんのまち活性化プロジェクト推進室より これまでの取り組みについて
- ・第2回学校運営協議会の協議を受けて

4 学校評価について

- ・令和3年度 具体的な学校経営目標・計画の達成状況について
- ・コロナだけでなく、社会変化を背景にして、全ての子どもの育ちが変質している見立てがある。コミュニケーション不足や人間関係をつくりにくい、ストレス耐性が低い、など。コロナで顕在化している可能性もある。i-checkなどを毎年実施しているのであれば、全体に働きかける開発的な教育相談にこれを活用してみてはどうか。

・学校評価（集計）について

- ・生徒の回答は自己評価が多く、客観性に乏しいように感じる。
- ・生徒の評価と教員の評価の乖離が大きい項目をどのように捉えるかが大事。「誇りを持っている」という質問では、スクールポリシーの面からも高めていく必要がある。その1つとして先ほどのi-checkを活用されたらよいのでは。
- ・生徒が緑陽に対して誇りを持って生活していくことが、これからの人生に必要なと思う。偏差値ではない魅力が緑陽にはある。金銭とか学歴ではない「人生の成功」を感じる誇りを学校の魅力として押し出してほしい。
- ・学習の評価だけでなく、人から認められている感覚、関心を持ってもらっている感覚があるとよい。広報大使の活動など、貢献している、役に立っている充実感を得られるしくみが、今後の課題につながるのでは。

5 学校の近況

- ・進路状況
- ・志願者倍率
- ・全国大会出場
- ・オンライン教育の推進

6 グループ協議「来年度の本校の魅力発信について」

- ・地域の方に知ってもらうのが大事。生徒のがんばりをどのように伝えていくかが大切。中学生には、何が学べてどういった進路に進めるのか、具体的に示す。広報大使の活動は効果があったのでは。進学する生徒も多いので、アピールしてはどうか。
- ・緑陽では自分で時間割を組めるが、難しそうに見えてしまうので、難しくないことを伝えるのがいいのでは。またオープンスクールなど、行事での「目玉」をつくって盛り上がりをアピールするのがいいのでは。HPに楽しそうな写真を掲載するのがよい。
- ・中学生のニーズを把握することが大事。緑陽には特徴的な部活があるので、しっかりアピールすべき。高校生の体験を伝えるのもいい。進学や進路、色々あるので何をアピールするのか明確にしておくべき。
- ・緑陽の生徒は、お兄ちゃんお姉ちゃんが来ていた、という「リピーター」が多くいる。親御さんたちが「緑陽で良かった」と感じてくれていたことをアピールしてもいいのかもしれない。

7 閉会